

超速硬性高強度無収縮モルタル フィルコンH

超速硬性高強度無収縮モルタル フィルコンHの特長

- ▶ フィルコンHは、打設後2～6時間で40N/mm²程度を発現する超速硬高強度無収縮グラウト材です。時間的制約下または交通開放しながらの施工等、緊急工事に最適です。また長期強度も安定して発現します。
- ▶ 所定水量範囲での混練により安定した無収縮性を維持し、構造物間の荷重伝達を行います。
- ▶ 流動性に優れ、ハツリコンクリート等の複雑な形状・空隙も隅々まで充填させることができます。
- ▶ プリーディングが全く発生しないため、充填後の空隙を残す心配がありません。
- ▶ 特殊短繊維入りのタイプも用意しています。

フィルコンHの施工要領概要

前準備

- ▶ 混練水：酸・油・有機不純物等を含まない清水。
- ▶ 混練機：ハンドミキサ・グラウトミキサ等の高速回転型をご用意下さい。手練りによる混練はできませんのでご注意ください。
アルミ製の羽根、容器は使用しないで下さい。
- ▶ その他：必要に応じ、モルタルポンプ・計量器・バケツ・コテ等。
- ▶ 清掃：打設箇所表面のレイトンス・油分・塵芥等を除去し、必要に応じてチップング・プライマ処理等を行って下さい。

施工

- ▶ 混練：混練は右図に従い、充分な攪拌を行って下さい。
- ▶ 注入：注入条件によって自重圧・ポンプ注入等選択します。注入は打設箇所全体で計画レベルを確保できるよう連続的にを行います。また、パイプレータ等による振動締固めは不適切です。
- ▶ 仕上げ：一般的には木ゴテ・金ゴテ仕上げを行います。
- ▶ 養生：フィルコンHの硬化過程では、急激な水和反応により著しい発熱が生じます。打設直後から固まるまでの間は、薄いビニールを表面に密着させて養生すると、初期の表面ひび割れ防止に有効です。硬化体が常温に戻った後に散水養生等を行うことは耐久性向上に対して有効です。

保管

- ▶ 開封後：開封後は密封して保管できますが、袋単位で使い切るようにして下さい。
- ▶ 積置き：屋内保管を原則とし、降雨・湿気等からなるべく遮断して下さい。



Filcon H 25kg/袋

本製品は砂調合済みのプレミクス品です。
水を加えて練り混ぜるだけで所定の性能が得られます。

荷姿は製造の都合等により予告無く変更する場合がありますので予めご了承下さい。

配合例

●フィルコンH 繊維なし

配合	水材料比 (%)	単位量 (kg)		練上り量 (ℓ)
		フィルコンH	水	
示方袋	17.2	1900(76袋)	327	1000
		25(1袋)	4.3	約13.2

●フィルコンH 繊維入り

配合	水材料比 (%)	単位量 (kg)		練上り量 (ℓ)
		フィルコンH	水	
示方袋	18.0	1875(75袋)	338	1000
		25(1袋)	4.5	約13.5

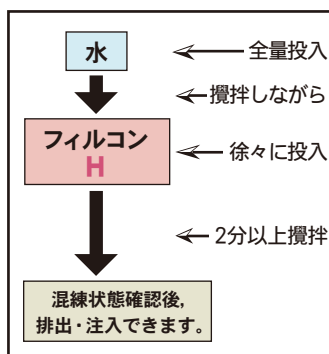
- 注1) 気温等により水量は多少変動します。
・繊維なし水量：4.1～4.5kg/袋程度
・繊維入り水量：4.3～4.7kg/袋程度
使用前には必要に応じて試験練りを行い、水量・流動性・強度等を確認して下さい。
- 注2) 可使時間は15～35分程度に調整されていますが、現場の施工条件によって変動することもありますので必ず事前に試し練りを行って確認して下さい。必要に応じて遅延剤もご用意しておりますので、メーカーにお問い合わせ下さい。

フィルコンHのタイプ

フィルコンHは通年安定した性能を発揮させるため、気温に応じた2タイプをご用意しております。施工時期・施工条件等をご検討の上、適切なタイプを選択して下さい。

タイプ	適用	選定基準
S	標準期・暑中用	練上り温度 10～30℃
W	寒中用	練上り温度 5～15℃

混練手順



混練状況



フィルコンHの性能一例

準拠した規格等

規格等 : 日本工業規格 (JIS)
 : 日本道路公団規格 (JHS)
 : 土木学会基準 (JSC E)
 : 首都高速道路公団, 土木材料共通仕様書
 : 阪神高速道路公団, 土木補修工事共通仕様書
 : 公共建築協会・評価基準

流動性

試験 : J14ロート
 管理値 : 練上り直後において8±2秒
 測定値 : 右グラフを参照 →

ブリーディング

管理値 : 練上り2時間後において2%以下
 測定値 : 練上り2時間後およびこれ以降もブリーディングは発生しません。

膨張収縮

管理値 : 材齢7日で収縮を示してはならない
 測定値 : 材齢7日において+0.05~0.2%の膨張側にあり, 収縮は認められない。

圧縮強度

管理値 : 材齢1時間で20N/mm²以上
 材齢3時間で30N/mm²以上
 材齢28日で45N/mm²以上
 測定値 : 右グラフを参照 →

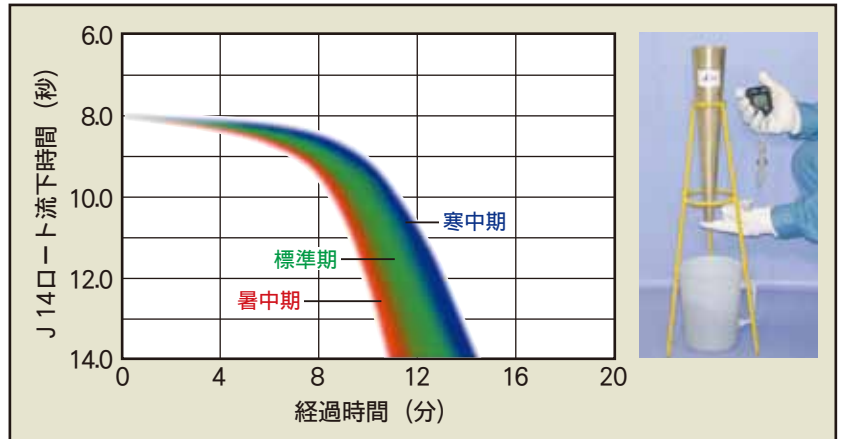
付着強度

試験 : 普通丸鋼φ19の引き抜き試験
 管理値 : 材齢28日で3N/mm²以上
 測定値 : 3.2N/mm²程度

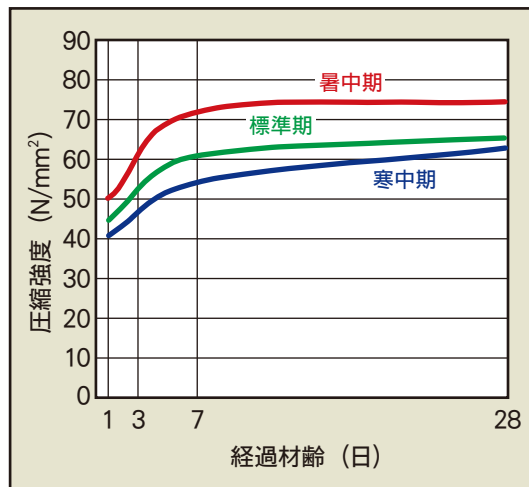
取り扱い上の注意 ⚠

- 本製品は強いアルカリ性を呈し, 目, 鼻, 皮膚等を刺激したり, 粘膜に炎症を起こすことがあります。
- 作業時には, 保護手袋, 防塵マスク, 防塵眼鏡等を必ず着用して下さい。
- 目に入った場合は, きれいな水で十分に洗眼し, 直ちに専門医の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は, きれいな水で十分に洗い流して下さい。

流動性の測定例



圧縮強度の測定例



床版継目部
無収縮モルタル打設

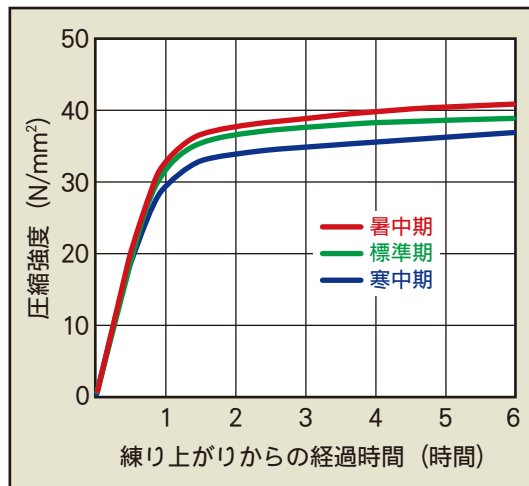


ジベル孔
無収縮モルタル仕上げ



ジベル孔
無収縮モルタル打設完了

材齢6時間以内の測定例



使用および取扱いの前に, 当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。
 本カタログの記載内容については, 予告無しに変更する場合がありますので, 予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東京 〒105-8641 東京都港区東新橋1-9-2(汐留住友ビル20F)
 大阪 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アーク堂島東館15F)
 名古屋 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)
 札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-10-2(札幌HSビル10F)
 東北支店 〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1(SS30ビル3F)
 北陸支店 〒920-0849 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)
 四国支店 〒760-0033 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)
 広島支店 〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F)
 福岡支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F)

電話 03(6370)2721 Fax 03(6370)2759
 電話 06(6342)7704 Fax 06(6342)7708
 電話 052(566)3202 Fax 052(566)3273
 電話 011(241)3901 Fax 011(221)1017
 電話 022(225)5251 Fax 022(266)2516
 電話 076(223)1505 Fax 076(223)0193
 電話 087(851)6330 Fax 087(822)6870
 電話 082(577)7645 Fax 082(577)7646
 電話 092(481)0186 Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は